

# まがたま 勾玉作りをしよう！

勾玉（まがたま）とは

日本各地で出土する。古代人が装飾用や祭祀用に作られたとみられる。縄文時代からあり、古墳時代にはとくに、このまれたらしい。硬玉・碧玉・メノウが多いが、ガラスや銅・石などもあり、土製のものは祭祀用とみられる。※「曲玉」とも書く。自然の家では柔らかく加工のしやすい「ろう石」を使用した勾玉作りを楽しんでいただけます。



## 勾玉作成キット

- 勾玉（穴あけ加工済み） ×1個
- 紙やすり ×3枚
- たい水ペーパー3種類 ×各1枚
- トレーシングペーパー ×1枚
- ひも ×1本
- 保存袋 ×1個

## 団体で準備するもの

- ☆新聞紙、レジャーシート  
→大量の削り粉が出ます。
- ・使い捨てマスク
- ・軍手

## 勾玉作り 指導のポイント

<設定時間>

約2時間(準備から片づけを含める)

<ねらい>

勾玉という日本古来の伝統文化に触れることにより、古代への想いを馳せたり、歴史への興味を誘う。石という身近な素材を使って装飾品を作り出す喜びを味わう

<展開方法>

勾玉作成キットを一人ずつに分配し、指導者が全体の流れを説明し作業を行っていく。石を研磨する過程で大量の削り粉が出るため、新聞紙やブルーシートを作業場に敷いて活動を行う。また粉じんが舞う恐れがある為、マスクや軍手の装着が望ましい。

<販売価格>

1セット 600円 キャンセル不可・買取のみ



# まがたま 勾玉のつくりかた



① 紙やすりで石の角を取っていきます。



② けずりカスがとびちらないように気を付けながらけずっていきます。



③ 図のように、全体の形がまろく見えるようになるまで、けずります。



④ たい水ペーパーの目があらいものから使い、どんどん丸くけずっていきます。



⑤ 形が整ったら、水やすりで磨きます。



⑥ 最後に、トレーシングペーパーで全体にツヤを出せばできあがりです！



⑦ ひもを通せば、アクセサリとして使えます。  
これでキミも古代人だ！

## 作る時のポイント

- ・ けずりカスがたかさんでるので下には新聞紙などをしいておこう
- ・ どこまで削るかの目安を、鉛筆などで書いておくと削りやすいよ
- ・ できあがった勾玉はキズがつきやすい。ふくろにいれて保存し、やさしくあつかおう

